

市議会では、議会基本条例に基づき決算審査における事務事業の評価を翌年度の予算に反映する「決算と予算の連動」に取り組んでいます。

今年度は、4分科会が評価対象事業を選定して、「決算事業報告書」に記載された事項に基づき、複数回のヒアリングと議論を重ね評価を行いました。令和6年第3回定例会の最終日に、議会として一致した意思を示すものとして確定し、市長に送付しました。



令和5年度決算の審査

総務分科会

評価対象事業	事業評価
(1)災害対策経費	改善継続
(2)総合防災訓練事業	継続
(3)自主防災組織育成事業	改善継続
(4)災害対策用資器材整備事業	改善継続

来年度予算編成に向けての指摘・ポイント等

- (1)災害対策経費：ブロック塀等の撤去費用助成の周知方法改善、要配慮者の避難体制の強化を。
- (2)総合防災訓練事業：より実践的な訓練にさらに改善するとともに、参加エリアを拡大し市内全域で実施を。
- (3)自主防災組織育成事業：地域の高齢化の中、協創推進室との連携で防災ライト屋や若者層の取り込みを。
- (4)災害対策用資器材整備事業：簡易トイレやパーテーションの整備、高齢者・女性・外国人・幼児に対応した備蓄品整備を。



健康福祉分科会

評価対象事業	事業評価
認知症施策推進事業	改善継続



来年度予算編成に向けての指摘・ポイント等

- ・認知症地域支援推進員の役割の明確化により個別最適な支援ができるよう工夫を。
- ・コーヒチェーン店舗における市主催での開催など、公民連携を踏まえた認知症カフェの新規運営手法の検討を。
- ・家族会の負担を増やさない形で認知症講座を増やす工夫を。
- ・オレンジパートナーと当事者及び介護者のマッチングの仕組みの検討を。
- ・認知症に関する知識の普及啓発及び発症段階における医療機関との迅速な連携の充実を。
- ・認知症の方が地域活動などに参加する際の円滑な受け入れ等の相談体制の検討を。

生活環境分科会

評価対象事業	事業評価
(1)女と男がともに生きる行動計画推進事業	改善継続
(2)TAMA女性センター運営経費	改善継続

来年度予算編成に向けての指摘・ポイント等

- (1)女と男がともに生きる行動計画推進事業
 - ・情報誌「たまの女性」について無関心層や若い世代の要望などの調査を踏まえたリニューアルを。
 - ・女性センターという名称がこれからの時代にふさわしいものか第三者の意見も取り入れながら検証を。
 - ・民間団体による女性シェルター等の運営は困難を抱えているため、国や都に補助金等の支援の働きかけを。
- (2)TAMA女性センター運営経費
 - 「多摩市女と男の平等参画を推進する条例」の啓発、理解促進のための人材育成、講師派遣、研修等、予算の充実を。



子ども教育分科会

評価対象事業	事業評価
放課後子ども教室事業	継続



来年度予算編成に向けての指摘・ポイント等

- ・「新たな居場所」として法人委託化の全校週5日開催に向けた学校及び教育委員会との連携、また予算の確保を。
- ・子どもたちの安全・安心のために、学童クラブ・児童館・放課後子ども教室のそれぞれの役割を担保したうえで連携することは重要である。そのことに留意して委託内容に配慮し委託先確保の取組みを。
- ・地域との交流やコミュニティの醸成については、運営主体まかせではなく市も積極的にかわかることで地域協創のモデルとなるような取組みを。
- ・子どもたちが学びながら遊べるようなものを市が用意の上、各現場に貸し出す取組みを。